

# 只見町ブナセンターだより

只見を再発見！

「自然首都・只見」展 開催中！

＜期 間＞

平成24年4月21日（土）～7月16日（祝）

“只見を再発見！「自然首都・只見」展”で行っている展示は、今年の1月から2月にかけて千葉県柏市で行われた“自然首都・只見展”をもとに、より只見の特色を濃くした展示となっております。

パネル展示、映像上映に加え、昔から作られている雑穀の現物展示、只見町に関する文献や書籍、生活に根ざした民具と現代における道具の比較展示など、より充実した展示を行っています。

企画展に合わせて、ブナセンター講座も行いますので、お誘い合わせの上、是非ご来館ください。



## 【第16回ブナセンター講座】

○森林の恵みとその背景 一生態系サービスを考える一

日 程：6月16日（土）午後1時30分～

講 師：中静 透（東北大学大学院生命科学研究科教授）

場 所：ただみ・ブナと川のミュージアム セミナー室

## 【自然観察会】

○身近なブナ林を歩く

日 程：6月17日（日）午前9時30分～

観察地：只見町楢戸他

集 合：只見町ブナセンター

## 【活動報告】

### ■自然観察会

ゴールデンウィークに合わせて、只見町の春を取り上げた自然観察会を2回行いました。町内外からたくさんの方に参加していただくことが出来ました。

#### 〈春植物に出会う〉5月5日（土）

午前中は雨が降っていましたが、午後からは晴れ間が広がりとてもよい観察日和となりました。12名の方にご参加いただき、黒谷川流域の春植物を観察しました。

日当たりのよい雑木林の中で咲くカタクリや、杉林の中ではショウジョウバカマ、黒谷川の土手ではフクジュソウの群落を観察することが出来ました。



春を告げるフクジュソウの花



白沢のフクジュソウ群落を観察する

#### 〈残雪のブナ林を歩く〉5月6日（日）

朝から晴れ間が広がり、県外からも多くの方にお越しいただき22名の参加となりました。集合場所の森林の分校で、準備運動をしてから観察地の“癒しの森”へ出発しました。

ブナセンター館長のあいさつの後、3つのグループに分かれて“癒しの森”へ入り、ブナ林の説明や参加者の質問に答えながらブナ林を観察しました。昨年はブナの実が大豊作で、いたるところにブナの殻斗（かくと）が落ちていました。ブナ交流広場では、小熊が登った爪痕やブナの芽生えを見ることが出来ました。

観察会の途中から、雨が降ってきてしまい、予定していた地点まで行くことが出来なかったグループもありましたが、ムシカリやイワウチワなど春の花も観察することができ、参加者の方からも「楽しかった！」という声を聞くことが出来ました。



雪が残るブナ林



ブナの芽生え

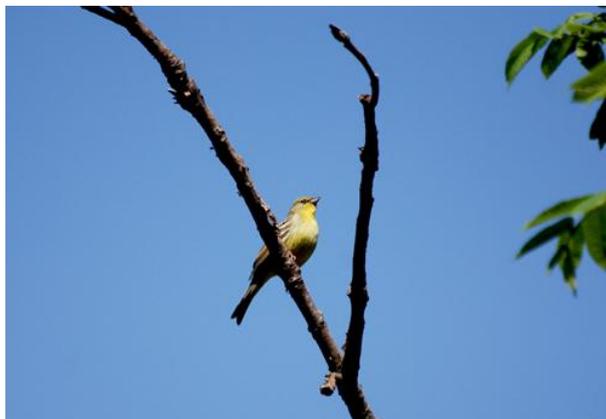
## 〈学ぶ会／ブナセンター共催・バードウォッチング〉 5月20日（日）

学ぶ会主催のバードウォッチングにブナセンター指導員も参加し、総勢 10 名の参加となりました。観察地となった寄岩地区では、10 数種類小鳥から、大型の猛禽類までを見ることが出来ました。

昨年の豪雨災害の影響で木々の流出や土砂崩れなどが林道で見られ、水害の影響で鳥類の減少が心配されましたが、数は減ったものの昨年とほとんど変わらない種類の鳥を観察することが出来ました。その他にもサンショウウオの卵塊やカエルなど様々な生き物に出会えたようです。



鳥の姿を追う参加者



アオジ

### ■只見町ブナセンター運営委員会 - 昨年度の総括と本年度の活動計画を承認

5月25日、「ただみ・ブナと川のミュージアム」において、平成 24 年度只見町ブナセンター運営委員会が開催されました。運営委員および事務局 14 名が出席しました。

ブナセンター長の 馬場一義 産業振興課長の挨拶をはじめに、運営委員会が開催されました。運営委員の変更や指導員が新たに加わったということもあり、自己紹介が行われました。

運営委員長・副委員長は、“目黒 邦友”さんと“古川 勝久”さんに決まり、目黒邦友委員長の司会進行で議事が始まりました。

議事は、平成 23 年度事業報告が行われ、23 年度の活動報告及び、昨年の震災及び豪雨災害によって 23 年度の入込数にどのような影響があったのか等が報告され「昨年場合は水害・震災などがあり、この数字は仕方のないことかもしれませんが、これだけの施設なので、もう少し人数が多くてもいいのかなという気はします。」「企画展や講座など、絶えず行っているが、一回ごとの参加人数を見ると、もっと多くの方に参加してもらえないか。」というような厳しい意見が寄せられました。

これに対して事務局側からは、「企画展や講座など広報を行うと共に、幅広く聞いていただけるテーマを盛り込んでいき、それをきっかけに専門性の高い分野に入っていただけるような、多様な講座の展開をしてきたい。ミュージアムの認知度をあげ、足を運びやすくしていくよう考えていきたい。」という意思表示がなされました。

次に平成 24 年度事業計画へと進み、“企画展”“ブナセンター講座”“自然観察会”等すでに行われた企画についての報告や、町内だけにとどまらず、町外・首都圏展示を行うなど、今年度の事業計画案が提示され、承認されました。

最後にブナセンター館長より運営委員に対して、ブナセンターの円滑な運営を図る為引き続きご支援ご協力をいただけるように要請があり、閉会となりました。

## ■明和小学校の総合学習授業

5月30日に、総合学習授業で「只見町のブナ」について勉強している、只見町立明和小学校の5年生15名が「ただみ・ブナと川のミュージアム」に訪れました。

挨拶のあと、ブナセンター指導員から只見町のブナについての説明が始まると、熱心に聞きながらメモをとっていました。説明の合間に、ブナについての問題を出すと、戸惑いながらも元気な声で答えを上げてくれました。1時間という短い時間でしたが、それぞれ興味のある展示を見たり質問したりと、楽しく学んでくれたのではと思います。



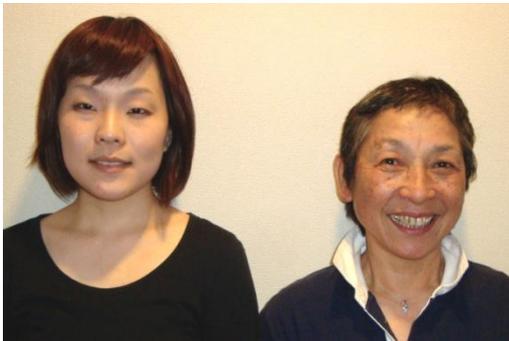
只見のブナ林の解説



展示物をのぞく小学生たち

## 【おしらせ】

＜新ブナセンタースタッフ＞



4月1日より、ブナセンターに2名のスタッフが加わり、新たな事務局体制となりました。

「ただみ・ブナと川のミュージアム」をより活用していただけるよう、頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

右： 渡部 和子（主任指導員）

左： 渡部 はるか（指導員）

### 【只見町ブナセンター友の会から平成24年度、更新のお知らせをいたします。】

友の会では、年会費1000円（毎年4月1日～翌年3月31日まで有効）をお願いしております。まだ更新をされてない方は更新していただきますようよろしくお願い致します。

#### ○更新の方法

年会費1000円を納入いただき、確認後に更新シールをお渡しします。

#### ○納入方法

ミュージアム窓口にて現金でのお支払い・郵便振替・銀行振込などがあります。

#### （新規会員の募集について）

友の会では新規会員を募集しています。友の会に入会し、ブナセンターの活動をご支援ください。

ミュージアム窓口にて入会申込書に年会費1000円を添えてお申し込みください。

只見町ブナセンターwebサイトからもお申し込みいただけます。

## 【今後の活動予定】

### ■2012年度只見町ブナセンター年間行事予定

開催時期	行事名	内容
6月16日	<b>ブナセンター講座</b> 森林の恵みとその背景 ー生態系サービスを考える	東北大学大学院生命科学研究科教授の中静透先生をお招きし、森林がどのような役割を担っているか、その恵みと背景についてお話していただきます。
6月17日	<b>自然観察会</b> 身近なブナ林を歩く	中静透先生と、身近にあるブナ林を観察しにいきます。ブナ林を中心に、自然観察と人と自然の関わりを楽しく学べる機会となっております。
6月30日	<b>料理教室</b> “オオウバユリ”を食べる	平田美穂子先生による、“オオウバユリ”を食べる、料理教室が開催されます。なかなかオオウバユリを食べる機会もないと思います。是非ご参加ください！
7月下旬	<b>自然観察会</b> 豪雨災害跡を歩く (黒谷・楢戸 林道予定)	昨年7月におきた豪雨災害により被害を受けた、黒谷・楢戸の林道を、観察しに行きます。水害の被害がどんなものか実際に見ることが出来る機会です。
8月～9月	<b>企画展 第二回</b> 只見の水辺の生き物たち (魚と両生類展)	只見町で出会える、魚や両生類をパネルと写真で分かりやすく解説し、標本・生体の展示を行います。
8月上旬	<b>ブナセンター講座</b> ナラ枯れはなぜ起こるのか？	只見町でも広がっている、“ナラ枯れ”についての講座になります。何が原因で起こっているのか、詳しく学ぶ事が出来る機会となっております。
8月上旬	<b>自然観察会</b> 河野昭一先生とブナの天然林を歩く(叶津川上流)	ただみ・ブナと川のミュージアム名誉館長の河野昭一先生と叶津川上流のブナの天然林を観察にいきます。ブナの解説はもちろん、美しいブナの林を楽しみましょう。
8月下旬 ～9月上旬	<b>町外展 県内展示・福島</b> 「自然首都・只見」展	自然首都只見展の県内展示を福島県コラッセで行います。合わせて物産販売も行われますのでお問い合わせの上ご来場ください。
9月上旬	<b>ブナセンター講座</b> 只見の水辺の生き物たち	企画展に合わせて、南相馬市博物館学芸員の稲葉修さんをお招きして、只見の水辺の生き物についてお話していただきます。
9月上旬	<b>自然観察会</b> 魚の生態と溪流釣りを楽しむ (太田川)	企画展に合わせて、魚を実際に釣ったり水生生物を探したり、水辺の生物の観察を行います。
10月～12月	<b>企画展 第三回</b> ツル植物の生態とその利用	つる植物は、昔から様々な生活用品や民芸品に加工され使われてきました。そんなつる植物をもっと知っていただくパネルと実物展示をおこないます。
10月上旬	<b>ブナセンター講座</b> ブナとツキノワグマ	ブナとツキノワグマの密接な関係について、森林総研の正木隆さんにお話をしていただきます。

10月上旬	<b>自然観察会</b> 秋のブナ林を歩く（沼ノ平）	秋の自然観察会として、秋の“沼ノ平”を訪れます。ブナの美しい紅葉を見に行きましょう。
10月	<b>写真教室</b> 只見を撮る	只見町広報員でもある、写真家の猪又かじ子さんをお招きして、秋の写真教室を開催します。
11月中旬	<b>ブナセンター講座</b> ツル植物を編む	企画展に合わせて、日本女子大 谷川栄子先生をお招きして“つる植物を編む”を開催します。
12月24日 ～27日	<b>町外展 首都圏展示・横浜</b> 「自然首都・只見」展	自然首都只見展の首都圏展示を横浜の“かながわ県民センター”で行います。合わせて物産販売も行われますのでお誘い合わせの上ご来場ください。
1月～3月	<b>企画展 第四回</b> 「只見の巨樹・巨木」展	只見町には、多くの巨樹・巨木が発見されています。樹種も多様で、他ではなかなか出会えない巨木も存在しています。そんな巨樹・巨木をパネル展示で紹介いたします。
1月上旬	<b>ブナセンター講座</b> 只見の巨樹・巨木を追いかける	新潟じねんじょの会の刈谷寿さんをお招きし、只見の巨樹。巨木についてお話していただきます。
3月上旬	<b>自然観察会</b> 冬のブナ林を歩く（癒しの森）	“癒しの森”へ、冬のブナ林を観察しに行きましょう。春や秋とはまた違ったブナの姿に出会えます。

## ただみ・ブナと川のミュージアム

開館時間：午前9時～午後5時

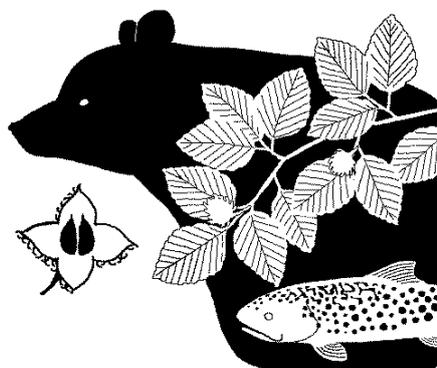
（最終受付は午後4時まで）

休館日：火曜日（祝祭日の場合は翌平日）

入館料：高校生以上 300円

小中学生 200円

未就学児無料、20人以上は団体割引



只見町ブナセンター

〒968-0421

福島県南会津郡只見町大字只見字町下 2590 番地  
「ただみ・ブナと川のミュージアム」内

■Tel 0241(72)8355

■fax 0241(72)8356

■web <http://www.tadami-buna.jp>

■E-mail [info-buna@amail.plala.or.jp](mailto:info-buna@amail.plala.or.jp)